

大会規則及び競技注意事項

1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会要項及び申し合せ事項によって行う。ただし、競技規則第162条5は適用しない。

2 練習について

- (1) 練習場は、補助競技場とする。雨天の場合は、バックスタンド下の室内練習場で行う。ただし、砲丸投の練習は補助競技場では行えない。本競技場内で役員の指示により行うこと。競技開始後の練習はできない。
- (2) 雨の場合、雨天走路に関しては第3ゲート（200m スタート）から（1500m スタート）方向へ走行すること。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は第3ゲート付近に設ける。
- (2) 招集時刻は競技開始時刻を基準とし、トラック競技は15分前、フィールド競技は30分前とする。
- (3) 競技者は招集時刻5分前までに招集所に集合し点呼を受ける。
- (4) 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集時刻20分前までに、競技者係に申し出るか、所定の用紙に記入し提出する。（用紙は招集所に用意する）
- (5) 招集時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (6) 四種競技者は、最初の種目のみ招集所で競技者係の点呼を受けるが、以後の2種目からは招集所で競技者係の確認のみを受ける。
- (7) 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集時刻5分前までに競技者係に申し出るか、所定の用紙に記入し競技者係に提出する。（用紙は招集所に用意する）
- (8) 2種目を同時に出場する競技者は当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。

4 選手変更について

- (1) 選手の変更は認めない。
- (2) 出場種目の変更は認めない。

5 競技場内への入場について

競技場内への入退場については、すべて審判員の指示に従い、選手・補助員以外は競技場内に入らないこと。

6 走路・試技順について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下の順とする。
- (2) 欠場者のレーンはそのまま空ける。
- (3) 決勝の組み合わせ、走路順は、主催者において公平に抽選し決める。

7 競技場使用上の注意について。

- (1) 競技場使用規定を厳守すること。
- (2) スパイクピンは、9mm以下のピンを使用すること。ただし、走高跳については、12mm以下とする。
- (3) 短距離種目では、フィニッシュ後も他の選手との接触等の危険を回避するため、自分に割りあえられたレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 100m及びハードル種目に出場する選手は、ゴール後ホームスタンド下通路をスパイクを脱いで通り、スタート地点に戻る。その他の種目に出場する選手は役員の指示に従い選手・役員移動通路を通りスタート地点に戻る。
- (5) 競技場内（グラウンド）には、ジュース等の缶、ビン、スマートフォンなどの通信機器を持ち込まないこと。
- (6) 競技終了後は、役員の指示に従いすみやかに移動する。

8 走高跳のバーの上げ方

四種男子	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51以降3cm
四種女子	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	1.46以降3cm

※ 四種競技の跳び始めの高さについては、選手に確認する。

9 混成競技について

- (1) 必ず四種目出場することを原則とする。

10 表彰について

各種目3位までの入賞者には賞状を授与するので、指定された場所まで取りに来ること。

11 その他

- (1) 選手の負傷・疾病については、応急処置以外は責任を負わない。
- (2) 競技会場（練習会場・スタンドを含む）で生じたゴミ類は全て持ち帰ること。
- (3) 生徒のエレベーターの使用は禁止する。
- (4) やや時間が早まったり、遅くなったりする事があるので、選手は必ず放送をよく聞いてウォーミングアップを行う。
- (5) 応援は観覧席から行い、選手・補助員以外は競技場内に入らないこと。また、応援のマナーについても十分に注意すること。